

北小ものがたり

竜王北小学校
研究通信 &
学校だより
第2号

平成30年5月30日



初夏の風も爽やかな季節となりました。今月は、校外に出かける行事が続き、保護者の皆様のご協力をいただきながら、無事に終えることができています。行事を通して成長した子どもたちの姿をうれしく思うと共に、お世話になった皆様方に深く感謝いたします。

さて、先日はPTA 教養委員会事業と、引き渡し訓練・ゴミゼロ運動へのご参加、ありがとうございました。マジックショーについては、ご家庭でも話題になったことと思います。炎があがったり、鳩が出てきたり、人が消えたり入れ替わったりと、マジックとイリュージョンであっという間に時間がすぎてゆきました。また、子どもや教員が参加したり、簡単なマジックを教えてもらったりしたので、低学年から高学年まで全ての子どもたちが、最後まで集中できたのではないかと思います。

ショーの後、マジシャンの水野さんから、見てくれた子どもたちがとても積極的で、やりやすかったとお言葉をいただきました。また、表情が豊かで、驚いてくれている様子が伝わってきて、やる気アップにもつながったとのことでした。水野さんは、県内の小中学校での公演



経験も豊富で、中には、クラスメートの目を気にしすぎてしまうためか、ノリの良くない学校（学級）もあるということでした。本校の子どもたちの素直さ・素晴らしさが改めて実感できました。

引き渡し訓練には、お忙しいところ、また暑い日に、徒歩でお越しいただき、感謝申し上げます。山梨県に影響があるような大地震（東海地震）について、30年以内の発生確率は80%を超えていると言われています。『天災は忘れた頃にやってくる』という戒めのとおり、『その日』が来る前にすべきことを確認していきたいと思えます。子どもたちが学校にいる間に大地震(*)が起きた場合は、保護者の方（代理の方）が学校にお迎えに来ていただくまで、お子さんをきちんとお預かりいたします。問題は、登下校中や遊びに行くときなど、子どもしか近くにいない状況の時です。『その時』どうしたらよいかを、是非ご家族でシミュレーションしてみてください。通る道や、避難できそうな大きな建物や広場の場所確認をしておいて、緊急時に行き違いにならないようにしていただきたいと思えます。 *：大地震とは、その時の状況にもよりますが、震度5弱以上を想定しています。

山梨県総合教育センターの研究支援協力校になりました

本校は今年度、総合教育センターと連携を深めながら校内研究を進めていくことになりました。県内の小学校では、ただ一校の指定となります。山梨県の教育に関する研究の拠点である総合教育センターに支援していただけるということは、大変ありがたいことだと思っております。更に、山梨大学の教育関係の教授陣にもご指導をいただけると聞いております。研究の深まりが期待できますので、それを日々の授業に生かして子どもたちに還元できるよう、職員一同がんばります。

(文責：校長 廣瀬)